

受章者の紹介

皆さまからのご支援に感謝いたします。
(平成27年12月21日～平成28年11月30日) 順不同・敬称略

紺 綬 褒 章

年間500万円以上

●本 宮 市 服 部 洋一

厚生労働大臣感謝状

年間100万円以上

●福島市 村山 陽一 ●福島市 鈴木 祐子 ●須賀川市 矢部 豊
●福島市 佐藤 勝三 ●伊達市 芳賀 甚市

日本赤十字社長感謝状

金色有功章受章後累計50万円の都度

●福島市 村山 陽一(3回) ●福島市 鈴木 祐子 ●田 村 市 本 田 茂典 ●会津若松市 鈴木 光雄
●福島市 佐藤 勝三 ●本 宮 市 服 部 洋一 ●田 村 市 遠 藤 一雄
●福島市 齋藤 忠 ●郡 山 市 渡 邊 廣孝 ●須賀川市 矢部 豊

金 色 有 功 章

累計が50万円以上

●福島市 井 柝 芳郎 ●郡 山 市 (株)アーバン設計 ●喜多方市 小 関 俊男
●福島市 社会医療法人 秀公会あづま脳神経外科病院 ●須賀川市 松本建設工業(株) ●南相馬市 双葉運輸(株)
●福島市 ふくしま未来農業協同組合 ●白 河 市 吉 田 公彌 ●相 馬 市 菅 野 惇
●福島市 (株)サテライト福島 ●白 河 市 白河信用金庫 ●いわき市 佐藤 浪子
●郡 山 市 増 子 久治 ●会津若松市 (株)マコト精機 ●いわき市 (有)本蔵商店
●郡 山 市 (株)星機械設計 ●喜多方市 齋藤 マサ子 代表取締役 吉田雄藏
●喜多方市 田 中 喜作 ●飯 舘 村 (有)濱田石材工業

銀 色 有 功 章

累計が20万円以上

●福島市 塩 谷 公夫 ●喜多方市 別 府 俊子 ●相 馬 市 (有)番場産業
●伊達市 安 田 恭子 ●喜多方市 大 竹 幸衛 ●いわき市 大 橋 仁
●伊達市 二階堂 リツ子 ●南相馬市 原 田 武士 ●いわき市 塩屋山崎合名会社
●伊達市 佐藤砂利碎石(株) ●南相馬市 (株)伏見材木店 ●いわき市 いわき電気工業(株)
●郡 山 市 須 田 庄治 ●相 馬 市 寺 島 美智子 ●いわき市 (株)ホクシン交易
●郡 山 市 (株)関組 ●相 馬 市 (株)高木電気商会 ●いわき市 (株)メディアいわき電設
●田 村 市 菊 地 秀夫 ●相 馬 市 東北労働金庫相馬支店 ●玉 川 村 草 野 亀雄
●田 村 市 大越町赤十字奉仕団 ●相 馬 市 (有)太田石油 ●湯 川 村 片 桐 豊司
●会津若松市 諏訪 敦夫 ●相 馬 市 (有)協大 ●栃木県足利市 (株)サミエル
●会津若松市 齋藤 敏 ●相 馬 市 相双眼科医院



あなたの思いを赤十字に ～ご自分や故人の思いを広く社会に役立てるために～

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いお申し出が増えています。

相談される方々の事情は様々ですが、ご自身や故人の思いを社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付したいとの思いは共通しています。

日本赤十字社は、このような尊いお申し出に応えるために遺言によるご寄付(遺贈)、相続財産のご寄付を承っております。

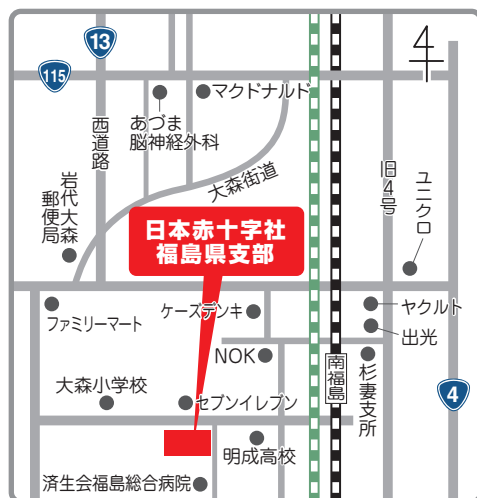
赤十字の活動資金に協力をお願いします



ご協力いただいた金額により表彰制度があり、税制上の優遇措置もあります。

お問合せ

日本赤十字社福島県支部組織振興課
☎024(545)7998



発行所／日本赤十字社 福島県支部

〒960-1197 福島県福島市永井川字北原田17
TEL 024-545-7997(代)

<http://www.fukushima.jrc.or.jp>

+ 日赤ふくしま



平成28年12月



現地避難所で医療救護活動を展開する渡部洋一福島赤十字病院長

平成28年熊本地震災害における日本赤十字社福島県支部の活動

平成28年4月14日以降、熊本県熊本地方で発生した最大震度7の地震は、熊本県を中心に大きな被害をもたらしました。

日本赤十字社は地震発生直後から救護班を派遣し、各地の避難所における医療救護や巡回診療、医療ニーズの調査等を行いました。活動終了となる6月2日までに dERU^{注1} 4班、救護班 207 班を派遣しました。

福島県支部では、4月25日～30日に第1救護班(医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名)を派遣。5月4日～9日には第2救護班(医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名)を派遣し、5月19日～25日にはこころのケア班(こころのケア指導者や健康生活支援講習指導員などで構成)を派遣しました。

また、熊本赤十字病院支援として、4月20日～26日に医師1名、看護師1名、4月25日～5月1日に看護師1名、主事1名、5月3日～8日には主事1名を派遣しました。

わたしたち日本赤十字社は、これからも引き続き被災された方々への支援を継続していきます。

注1) 仮設診療所設備とそれを運ぶトラック・自動昇降式コンテナと訓練された dERU 職員、そしてそれらを円滑に運用するためのシステムの総称です。



日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

赤十字は皆さまからお寄せいただいた活動資金に支えられています

平成28年度の福島県支部事業

災害救護訓練

7月16日(土)、日本赤十字社福島県支部災害救護訓練を実施しました。

この訓練は、災害発生時に迅速かつ的確な救護活動を展開することを目的に、日赤福島県支部・福島赤十字病院・福島県赤十字血液センター合同で毎年実施しています。

今年度は、救護員59名が参加し、講義や実習をとおり、災害救護活動の実際を学ぶとともに、救護員として必要な知識と技術を習得するために真剣に取り組みました。

今後予想される各種災害に備えるため、これからも救護員の訓練に励んでいきます。



青少年赤十字(JRC)

フィリピンユースメンバー福島訪問
10月29日(土)～11月3日(木)

平成28年度青少年赤十字国際交流事業における海外青少年赤十字メンバーの受入れに伴い、フィリピンから2人のユースメンバーが来県しました。震災以降、6年ぶりの海外メンバー受入れとなり、来県したダニカ(19歳大学2年生)とジェフ(16歳高校3年生)の2人は、福島市内の除染情報プラザを見学し、原発事故や除染の様子、風評被害などを学びました。

県内JRCメンバーとの交流では、フィリピンメンバーに書道や着付け、生け花などの日本文化に触れてもらい、また、フィリピンメンバーからはフィリピン青少年赤十字活動の様子や民族舞踊を披露してもらうなど、互いに充実した交流が図れました。

期間中、ホームステイプログラムで、日本の生活習慣やホストファミリーとの友好を深められたことは、2人にとって忘れられない思い出になったことでしょう。



平成28年度 国内義援金受付状況 (平成28年11月30日現在)

●平成27年台風第18号等大雨災害義援金	10,358,201 円
●平成27年台風第21号与那国町災害義援金	376,411 円
●平成27年屋久島町口永良部島新島嶼火災害義援金	800,249 円
●平成28年熊本地震災害義援金	127,383,908 円
●平成28年台風10号等災害義援金	1,529,201 円
●平成28年鳥取県中部地震災害義援金	599,974 円
●東日本大震災義援金(平成23年3月12日からの累計)	812,308,387 円

合 計 953,356,331 円

平成28年度 海外救援金受付状況 (平成28年11月30日現在)

海外救援金	
●2015年ネパール地震救援金	19,389,250 円
●中東人道危機救援金	139,411 円
●2016年台湾地震救援金	2,244,261 円
●2016年エクアドル地震救援金	879,129 円
●2016年イタリア中部地震救援金	628,236 円
●2016年ハイチハリケーン救援金	10,556 円

合 計 23,290,843 円

平成27年NHK海外たすけあい

11,181,180 円

※義援金は被災された方々へ全額配分しています。



関係機関との連携

* ふくしま防災フェア2016を開催

10月15日～16日、「ふくしま防災フェア 2016」が福島市の「四季の里」で開催されました。このイベントは、福島復興と防災に共に取り組むために、福島県と日本赤十字社との間で交わされた「福島県と日本赤十字社との復興、防災対策等に関する共同宣言」(以下、共同宣言)を具体化するために結ばれた「協定」に基づき計画されたものです。気軽に「防災」を見て、触れ、学ぶ場として、福島県、日本赤十字社福島県支部、ふくしま防災フェア実行委員会共催により初めて開催されました。

両日とも多くの家族連れが会場を訪れ、防災に関する様々なイベントに積極的に参加していました。



* 「平成28年度『生き抜く力』を育む防災教育推進事業各地区研究協議会」を開催

福島県と日赤との共同宣言に基づき、県教育委員会との共催で『生き抜く力』を育む防災教育推進事業各地区研究協議会が7つの教育事務所で開催されました。今年度は「青少年赤十字防災教育プログラム『まもるいのち ひろめるぼうさい』」を活用した演習が盛り込まれ、県と防災教育における連携を図りながら児童・生徒への防災意識向上を目指しています。参加者からは「知恵や互いの良さを出し合って対応できる生き方・考え方を育むために役立つ」「自校の子ども達が挑戦したらどうなるだろうかを考え実践してみたくまりました」など多くの感想が寄せられました。



平成27年度 決算報告

福島県支部の平成27年度事業報告及び会計収支決算が評議員会において次のとおりいずれも承認されました。

《平成27年度一般会計歳入歳出決算報告》

収 入	支 出	収入支出差引額
457,764,569 円	423,947,413 円	33,817,156 円

■ 福島県支部

収 入	
一般社資収入(個人社費・寄付金)	285,313,497 円
法人社資収入(法人社費・寄付金)	21,545,712 円
補助金収入	594,000 円
繰入金(資金、特別会計)	12,721,007 円
本社交付金	75,285,792 円
雑収入	4,018,759 円
前年度繰越	58,285,802 円
合 計	457,764,569 円
収入支出差引額(繰越金)	33,817,156 円

《平成27年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告》

■ 福島赤十字病院

収益的収入	収益的支出	収入支出差引額
7,068,778,197 円	7,070,526,643 円	△1,748,446 円
資本的収入	資本的支出	収入支出差引額
986,905,762 円	986,905,762 円	0 円

